# We folked the section of the non-beautiful particular of the

未来の図書館 研究所 第 6 回 シンポジウム

We edit and reinforce me memories after the fact ore easily than we ce flaws in ourselves and complete information over complex, ambiguous option We tend to find stories ar at sparse data nd group status, and avoid We fill in characteristics fro eotypes, generalities, To get things done, we tend to complete things we've invested time and energy in To stay focused, we favor the We imagine things and p ediate, relatable thing Not Enough as better We simplify probabilities and numbers Meaning o make them easier to think about To act, we must be confident we can make an impact and feel wha we do is important Need To ns onto the past and futur Act Fast

企業家のバスター・ベンソンは、ウィキペディアに掲載されている約 180 種類の認知バイアスを、機能や類似点に基づいて 20 の問題にまとめ、それらを四つの領域(情報過多、意味不足、時間不足、記憶容量不足)に配置した認知バイアス(Cognitive Bias)のリストを作成しました。これに注目したジョン・マヌーギアンは、ベンソンのものを加工し、左図のような認知バイアスの視覚的な地図(認知バイアス・コーデックス)を作成しました。この地図には人間の認知バイアスが曼荼羅のように描かれています。これを見ると、私たちの認知がいかに歪められているのかを視覚的に知ることができます。

(笹原和俊『フェイクニュースを科学する』より)

この図は「Wikimedia Commons」の"File:Cognitive bias codex en.svg" (design: John Manoogian III categories and descriptions: Buster Benson implementation: TilmannR, クリエイティブ・コモンズ・ライセンス (CC BY-SA 4.0 < https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/>)) を加工して作成しました (図の出典: https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Cognitive\_bias\_codex\_en.svg)

世論が客観的な事実よりも個人的な信条や感情に左右される「ポスト真実(post-truth)」の時代において,情報を通じてコミュニティを支える図書館の役割が改めて問われるところです。そこで,信頼度の高いメディア「新聞」に携わり,記者歴 30 余年の伊藤智永氏と,フェイクニュース現象の仕組みを科学的に追究されている笹原和俊氏をお迎えし,ネット社会において図書館はどのようにあったらよいかを考えてゆきたいと思います



### 講演者・パネリスト

伊藤 智永(いとう・ともなが)氏 毎日新聞専門記者

東京大学文学部卒,毎日新聞入社。政治部,経済部,外信部で主に政治・外交を担当。ジュネーブ特派員として新型インフルエンザ大流行,アラブの春,ギリシャ経済危機などを取材。オピニオン担当編集委員,論説委員を経て,現在は毎月第1土曜日に政治コラム「時の在りか」を執筆。著書に『靖国と千鳥ケ淵』(講談社+α文庫)『忘却された支配―日本のなかの植民地朝鮮』(岩波書店)『「平成の天皇」論』(講談社現代新書)など。



# 講演者・パネリスト

**笹原 和俊**(ささはら・かずとし)氏 東京工業大学准教授

2005 年東京大学大学院総合文化研究科修了。博士(学術)。名古屋大学大学院情報学研究科講師を経て,現在,東京工業大学環境・社会理工学院准教授,国立情報学研究所客員准教授。2009 年カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員,2016 年インディアナ大学客員研究員。2016 年~2020 年 JST さきがけ研究者。専門は計算社会科学。著書に『フェイクニュースを科学する 拡散するデマ,陰謀論,プロパガンダのしくみ』(化学同人) など。



#### コーディネーター

永田 治樹(ながた・はるき)株式会社 未来の図書館 研究所 所長

名古屋大学附属図書館を振り出しに,国文学研究資料館,東京大学・金沢大学・北海道大学の図書館などに勤務後,1994年から筑波大学図書館情報メディア研究科,立教大学文学部等で教育・研究に携わる。専門領域は図書館経営。近著に,永田治樹編著『図書館制度・経営論』日本図書館協会,2016.

# **□時** 2021年 1 1 月 8 日(月)13:30~16:30

受付 事前申込制(「Zoom」または「YouTube」を選択してください)

参加曹

4111业3

Zoom:50 名(申込締切 11/5) YouTube: 定員はありません



UDトークによる 字幕配信を行

## ■ オンライン開催方法のご案内

Web 会議サービス Zoom によるオンライン開催とし,同時に YouTube でのライブ配信を行います。

※当日、登壇者への質問など、双方向のやり取りを希望される方は、申込時に「Zoom」を選択してください。

※ 視聴のみご希望の方は、申込時に「YouTube」を選択してください。YouTubeのチャットからも登壇者への質問を受け付けますが、Zoomでの質問を優先します。

お申込方法 下記アドレス宛のメールまたは未来の図書館研究所 Web サイトの申込フォームよりお申込みください

お問合せ

株式会社 未来の図書館 研究所 info@miraitosyokan.jp Web サイト http://www.miraitosyokan.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-9-25 2 階 TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395



未来の図書館 研究所 The libraries of the future research, Inc.

